

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳ひとみ輝かがやく

第1号 令和4年4月8日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

令和4年度のスタート

令和4年度が新入生124名を迎え、全校生徒381名でスタートしました。1年生4学級、2年生3学級、3年生4学級、特別支援学級2学級となります。中学校の3年間は、あっという間と言われますが、その成長にも目を見張るものがあります。新入生が一日

学校だより「瞳ひとみ輝かがやく」について

本校の目指す生徒像「胸をはり 瞳輝く東中生」の一節から中学校生活三年間での学ぶ多くのことを自分から学ぼう、自分から行動しようと志高く取り組む生徒をイメージしています。

「瞳ひとみ輝かがやく」が「学校・家庭・地域」の協力体制をより確固なものにすることを願っています。

ごとに東中学校の学校生活に慣れ、3年間を大切に過ごせるよう、そして、全校生徒が自分の力を高めていけるよう、学校・家庭・地域が連携した教育により「教育が一人前の社会人をつくる『守・破・離』の東中学校三カ年教育」を進めていけますようご支援、ご協力をお願いします。

今年度もコロナ禍の対応として始業式、入学式は、時間差を設けて実施となりました。昨日の準備登校での2年生3年生の様子は、2週間前よりも幾分大人びた顔つきになり、頼もしい限りです。また、入学式においては、保護者の参加は、ご家庭お一人としました。まだまだ、感染対策が必要な状況が続きますが、「できることを確実に」として進めていきたいと考えます。

始業式のことばの中で埼玉県を代表する詩人、宮澤章二さんを紹介しました 一部掲載

「こころ」はだれにも見えない けれど「こころづかい」は見える

「思い」は見えない けれど「思いやり」はだれにでも見える

この一節は、東日本大震災の後、テレビで放送され、多くの人々の心を優しい気持ちにすることができました。思いやりの気持ちを持っていても、なかなか行動に移すことは難しい。しかし、その美しい気持ちは行為になってこそ初めて意味があるということに気づいてもらいたい。詩に込められたメッセージをきっかけにしてすべての人が持っているやさしい気持ちが、たくさんのあたたかい行為となってほしいと願ったのでした。

この一年が学校教育目標の「自ら学び考え 主体的に行動する 心豊かな生徒」に近づくための一日一日としてください。そして、「胸を張り 瞳輝く東中生」として社会に出るために必要なことを身に付ける東中学校の「守・破・離」の三年間としてください。

二年目の二年生は「破：破る」自主自律、新しい考えや工夫を加え発展させていきましょう。

三年目の三年生は、「離：離れる」集大成の最高学年として次のステップへとつなげ、志や目標をもって自己実現につなげましょう。

そして、新たに仲間入りする一年生を励まし、「守：守る」基礎固めの一年間として東中学校の校風、伝統を学び、基礎基本を身に付けていくことができるよう応援してください。

一人一人の中学校生活が「瞳輝く東中生」として伸びやかに、心豊かになることを願っています。